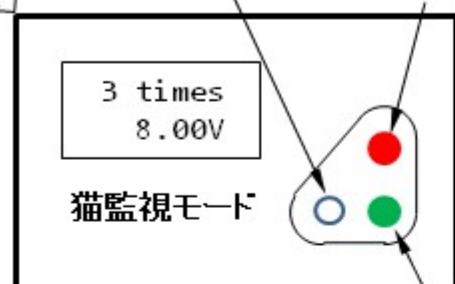


【スイッチ操作と液晶ディスプレイの表示例 (cat_spray6)】

電源ON

M:Mode Switch

U:Up Switch



下側センサで
検出が有り
上側センサで
検出が無いなら
水を噴射する。

D:Down Switch

異常検出

次ページ

Spray ms
300ms

噴射時間設定

Pressure
100%

噴射圧力設定
(2026/7追加)

TestFire
300ms

Uを押すと噴射
Dを押すと
噴射時間設定
へ戻る

Up Wait
30sec

上側センサで
検出後の噴射
禁止時間設定

DownWait
5sec

下側センサ
検出後噴射
までの待ち
時間設定。
この間に上側
センサ検出で
キャンセル

Day Wait
600sec

昼間の噴射後
の噴射禁止
時間設定

DarkWait
10sec

夜間の噴射後
の噴射禁止
時間設定

Volt Th.
7.20V

電池電圧
低下検出
閾値設定

Max19.2A
Th. 25.0

過大電流
検出閾値
設定

Water Th
2.00A

タンク内
水なし判定
電流閾値設定

Vk= -129
8.34V

電池電圧測定値
補正設定。
0で補正なし
単位は約0.05%

Ak= 0
4.86A

モーター電流
測定値補正設定。
0で補正なし
単位は約0.05%

Test
Sensors

上側センサ検出
で緑LEDが点灯
下側センサ検出
で赤LEDが点灯

Test Cds
Day

Cdsセンサテスト。
明るいときDay、暗いとき
Nightを表示する。
このモードでMボタン
を押すと変更された
設定値が不揮発性
メモリに記憶され
通常監視モードへ戻る。

【異常検出機能と対処法】

	LCDディスプレイ表示例	対処法
Volt Th.モードで設定した電圧より電池電圧が低下	⇒ Low Volt 7.10V 赤LEDが 間欠点滅 ⇒	バッテリーを充電
Water Th.モードで設定した電流より水噴射終了 間際のモーター電流が少ない。 (タンク内水切れと判断)	⇒ No Water 1.00A 緑LEDが 間欠点滅 ⇒	水を補給し Mボタンを押す
水噴射時のモーター電流がMax ***A Th.モードで 設定した電流より大きい。 (ディスプレイ上段に表示されたA値は水噴射時に計測された過大電流値 ディスプレイの下段に表示されたA値はMax ***A Th.モードで設定した電流値)	⇒ Over A 30.00A 緑LEDと 赤LEDが 間欠点滅 ⇒	水噴射時の電流が大きい原因 をしらべて対策し Mボタンを押すか、電池を一旦 外して付け直す。

【電圧、電流測定値補正について】

電圧測定値を補正するには電池電圧をテスター(デジタルマルチメーター)などで測定し、その値になるようVk=モードにしてUp/Downボタンで調整する。

電流の各閾値設定はラフでよい。ため電流測定値補正は通常必要ない。(Ak=0の補正無でOK)
それでも補正したい場合はモーターの代りに10Ω(5W)等の抵抗を接続し、テスト噴射し
(TestFireモードでUpボタンを押す)、その後Ak=モードにして
表示された電流値が電池電圧/抵抗値に近くなるようUp/Downボタンで調整する。

- 原因例1
羽根車が何かに引っかかって
回転できない
- 原因例2
モーター軸が錆びて回らない
- 原因例3
配線ショート